

# 人の評価・神の評価

---

シリーズ～続 福音の力～

2021/1/17

## ルカ福音書20章46節～21章4節

---

民衆が皆聞いているとき、イエスは弟子たちに言われた。「律法学者に気をつけなさい。彼らは長い衣をまとって歩き回りたがり、また、広場で挨拶されること、会堂では上席、宴会では上座に座ることを好む。そして、やもめの家を食い物にし、見せかけの長い祈りをする。このような者たちは、人一倍厳しい裁きを受けることになる。」

イエスは目を上げて、金持ちたちが賽銭箱に献金を入れるのを見ておられたそして、ある貧しいやもめがレプトン銅貨二枚を入れるのを見て、言われた。「確かに言うておくが、この貧しいやもめは、だれよりもたくさん入れた。あの金持ちたちは皆、有り余る中から献金したが、この人は、乏しい中から持っている生活費を全部入れたからである。」

# 律法学者たちの態度

---

注目を浴びたい(賞賛されたい)

- 長い衣をまとって歩き回りたがる
- 広場で挨拶されることを好む

重んじられたい(尊敬された)

- 会堂では上席、宴会では上座に座ることを好む

しかし中身は腐っている！

- やもめの家を食い物にする
  - 教えに対して高額な報酬を要求する
- 見せかけの長い祈りをする
  - 長々と祈るが全く心が伴っていない

# やもめの献金

---

## 神殿にあった賽銭箱

- 神殿にはラツパの形をした賽銭箱が13あった

## 献金の様子を見ておられたイエス様

- 「金持ちたちが賽銭箱に献金を入れるのを見ておられた」

## 貧しいやもめの献金

- 身なりなどで分かったのでは
- 「レプトン銅貨2枚」
  - レプトン銅貨は最小貨幣／約60円 2枚なので120円



# イエス様のコメント

---

## やもめの献金をほめる

- 「確かに言うておくが、この貧しいやもめは、だれよりもたくさん入れた。」

## 生活費を

- 「あの金持ちたちは皆、有り余る中から献金したが、この人は、乏しい中から持っている生活費を全部入れたからである。」
- 持ち物に対する献金の割合が高い

# やもめの信仰

---

なぜ彼女は生活費の全部を献げたのか？

- 1レプトンを献げて、1レプトンをとっておくこともできたのではなか？

彼女は神に心から感謝している

- 彼女の命を繋いでいるのは神であると確信している

献金したとしても与えられると信じている？

- 必要は全て神が与えて下さると信じている

# 人の評価・神の評価

---

## 人の評価を求めた律法学者

- 注目を浴びたい・賞賛されたい > 承認欲求
- 重んじられたい・尊敬されたい > 自己実現
- 外見は立派だが、中身は伴っていない
- 「人一倍厳しい裁きを受けることになる」

## 神に高く評価されたやもめ

- 自らの不遇や貧しさを恨んでいない
- むしろ神に感謝し、その気持ちを態度に表している
- 神はご存じであり賞賛しておられる



# 人の評価・神の評価

---

## 人の評価を求めた律法学者

- 注目を浴びたい・賞賛されたい > 承認欲求
- 重んじられたい・尊敬されたい > 自己実現
- 外見は立派だが、中身は伴っていない
- 「人一倍厳しく評価を受けることになる」

私はどちらの  
評価を求めているだろうか？

## 神に高く評価されたやもめ

- 自らの不遇や貧しさを恨んでいない
- むしろ神に感謝し、その気持ちを態度に表している
- 神はご存じであり賞賛しておられる

# 神の評価だけを求めたキリスト

---

キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。

フィリピ2章6～9節